

コレクション

池田文痴庵（いけだ ぶんちあん）文庫 【貴重資料】	
特色	○菓子史研究家、風俗資料収集家の池田文痴庵氏（本名：信一）の主要コレクション。図書約4,000点、他の小片資料多数（昭和48年旧浦和図書館に寄贈）。 ○池田文痴庵氏は明治34年東京麻布に生まれ、生来の人並み外れた好奇心と収集癖により小学校入学以来、絵葉書、切手、スタンプ、往来物、新聞号外等、様々な資料を収集し続け、大正12年、森永製菓に入社し社史の編さん等に従事する一方、昭和2年に池田文化史料研究所を設立し、戦後は浦和に移住して庶民文化資料の収集に生涯心血を注ぐ。 ○この文庫の内容は、図書、雑誌などの印刷物だけでなく氏の研究ノート、日記、手紙、新聞記事の切り抜きスクラップ、切手や包装紙スクラップ等と、多種多様な資料コレクションとなっている。 ○森永製菓社史編さんにあたって収集した森永のパンフレット、ポスター、包装紙、広告や森永自社出版物、写真等の森永製菓関係資料や、菓子研究のための研究ノート、稿本、自著の『キャラメル芸術』（昭和）をはじめ『菓業人国記』（大正6）、『素人菓子製造法』（明治40）、『東京菓子新聞』その他多くの菓子関係の図書、雑誌、新聞等は、明治から昭和初期の菓子史の研究においてかけがえのない貴重な資料である。
目録等	『池田文痴庵文庫展目録』（埼玉県立浦和図書館 1973）
暁霞（ぎょうか）文庫 【貴重資料】	
特色	○現北足立郡伊奈町で郡会議員、（旧小針村）村長等を務めた加藤孝太郎氏（1873～1944）の文庫を寄託された約3,000点（昭和45年から旧浦和図書館に寄託）。 ○加藤氏が自ら暁霞山人、遊霞裡等と号したところから暁霞文庫と称される。往来物、教科書がかなりの量を占め、国史資料、近世小説、読物実録も多く、写本、版本、絵はがき等の一枚ものの資料も丹念に収集されている。
目録等	『暁霞文庫目録』（埼玉県立浦和図書館 1971） 『明治時代の教科書を見る 暁霞文庫の紹介』（埼玉県立浦和図書館〔19--〕）
清水美江（しみず びこう）コレクション 【貴重資料】	
特色	○児玉郡賀美村（現上里町）生まれで大正7年に川柳を始めた埼玉川柳界の草分け的存在である清水美江氏の収集資料1,351タイトル（昭和55年旧浦和図書館に寄贈）。 ○川柳関係537タイトルと発行地が北海道、大連、天津にまでおよぶ509タイトルの川柳関係雑誌のほか、一般図書、一般逐次刊行物も含むコレクション。
目録等	『清水美江コレクション埼玉県立浦和図書館蔵』（埼玉県立浦和図書館 1980） 『川柳同人誌展展示目録 清水美江コレクションを中心として』（埼玉県立浦和図書館 1979）

藜（あかざ）文庫 【特殊文庫】	
特色	○県立熊谷図書館の副館長を務め、県史編さんにも関与した長谷川宏氏の旧蔵書2,897冊（昭和48年熊谷図書館に寄贈）。 ○和書、漢籍、洋書、各種雑誌等を、昭和48年以降数次にわたって寄贈された。特筆される資料には、北埼玉郡の教育者清水雪后翁旧蔵の和書・漢籍83部345冊がある。その他、黒沢翁満、青木輔清、井上淑蔭、川島樸坪等、近世・近代の郷土文化人の著作や、中国文芸研究書、蝶に関する論文の抜き刷り類も特色である。
目録等	『藜文庫目録 埼玉県立熊谷図書館所蔵』（埼玉県立熊谷図書館 1981）
稲村（いなむら）文庫 【特殊文庫】	
特色	○埼玉県郷土史会会長であった稲村坦元氏の旧蔵の和書1,223冊（昭和45年に熊谷図書館で一括購入）。同氏が長く地方史誌研究に携わったことから、これらの資料が多くを占めている。そのなかでも、東京都、埼玉県を中心とした史誌・文化財・社寺関係資料に特色があり、麻布区史など、現在の東京都23区制以前の区史も含まれている。東京都の歴史地誌、史蹟名勝天然記念物・文化財調査報告書、社寺関係資料等。
今村（いまむら）文庫 【特殊文庫】	
特色	○今村尚徳氏から寄贈された図書1538冊、雑誌92タイトル、新聞（平成4年旧浦和図書館に寄贈）。平田篤胤関係の和装本のほか、日本思想を中心に全分野にわたる一般図書、雑誌、新聞がある。
目録等	『今村尚徳氏寄贈資料目録』（埼玉県立浦和図書館 1993）
大沢（おおさわ）文庫 【特殊文庫】	
特色	○関東短期大学教授で、教育研究家・郷土史家でもあった大沢俊吉氏の旧蔵和書3,043冊（昭和49年熊谷図書館に寄贈）。 ○昭和49年に寄贈され、同氏の研究上の収集資料が中心である。戦前からの人文・社会科学関係の資料が多く、各種文庫本が多量にあるところが特色。昭和初年～20年代の岩波文庫多数。
目録等	『埼玉県立熊谷図書館所蔵 大澤俊吉氏寄贈図書目録』（埼玉県立熊谷図書館 1979）
鹿沼（かぬま）文庫 【特殊文庫】	
特色	○旧制中学校の国語教師を務めた鹿沼辰次郎氏旧蔵の和書442冊（昭和45年に熊谷図書館で購入）。国文学研究書中心に若干の和書・漢籍がある。

潮地悦三郎（しおち えつさぶろう）文庫 【特殊文庫】	
特色	○元蕨市立図書館長、戸田市史専門調査員として民俗関係の調査を担当した潮地悦三郎氏（1925～1985）が戦後、蕨市を中心とする地域の社会・民俗研究のために収集した旧蔵資料1,398冊（昭和61年旧浦和図書館に寄贈）。 ○内容は民俗、家庭生活の習俗、性風俗、民間信仰、祭礼、年中行事、民話・伝説、民族等の和書が中心となっている。
目録等	『潮地悦三郎文庫目録』（埼玉県立浦和図書館 1987）
田中重之（たなか しげゆき）文庫 【特殊文庫】	
特色	○元埼玉県教育委員長田中重之氏（1898～1985）の旧蔵資料2,137冊（昭和60年旧浦和図書館に寄贈）。 ○行政官として専門である社会学系図書を中心に、思想、文化、芸術と幅広い分野にわたっている。内務省職員として昭和6年から9年までのベルリン滞在時代に収集された社会思想分野のドイツ語文献は史料価値が高い。
目録等	『田中重之文庫目録 埼玉県立浦和図書館所蔵』（埼玉県立浦和図書館 1986）
山本（やまもと）文庫 【特殊文庫】	
特色	○漢籍中心の個人寄贈資料1,325冊（平成14年久喜図書館に寄贈）。中国の歴史・思想史・文化史・制度史など中国学・アジア史を研究するための基本的な漢籍資料。
陸士（りくし）資料 【特殊文庫】	
特色	○朝霞にあった陸軍予科士官学校の旧蔵書1,824冊。第二次世界大戦直後の1945年10月29日・30日にアメリカ軍の接收を避けるため、近くにあった埼玉県立図書館に運び込まれた。そのうちの相当数が1949年に埼玉大学へ移されている。 ○蔵書印から推察すると、最初に陸軍士官学校、陸軍中央幼年学校および陸軍予科士官学校に分配され、後に陸軍予科士官学校に引き継がれた書籍と思われる。和書のほかドイツ語文献あり。

各コレクションについて、貴重資料、特殊文庫に分け※、それぞれ名称の五十音順に記載した。（「山本文庫」を除き、熊谷図書館所蔵）

※ 貴重資料：一般には入手しにくい貴重な資料を含むコレクション

特殊文庫：貴重資料以外のコレクション